

発達障害のある大学生の課題遂行を支援するアプリケーション開発

大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター

特任助教 前田 由貴子

【研究の背景】

発達障害の大学生は、計画的に物事をこなすことや、複数の課題を完遂させることが苦手であり、課題の不提出と結びつくことで単位修得を妨げ、留年や退学に至りやすくなる [1] [2]。この問題を解決するために、リマインド通知や To Do リスト機能を持つアプリケーション [3] を利用したタスク管理支援が行われているが、発達障害の大学生は時間の見積もりや優先順位づけも苦手である [4] ことから、これらの機能だけでタスク管理スキルを向上させることは難しい。そこで本研究は、時間の見積もりや優先順位づけの支援を行うことで、発達障害の大学生のタスク管理能力を向上させることを目的とした。

【研究の経過】

以下 3 つの取り組みを行った。

1. アプリケーション機能についての聞き取り調査（対象者：発達障害の診断を持つ学生 5 名）
2. プロトタイプ版アプリケーションの開発
3. プロトタイプ版アプリケーションユーザーテスト（対象者：発達障害の診断を持つ学生 7 名）

【研究の成果】

1. アプリケーション機能についての聞き取り調査

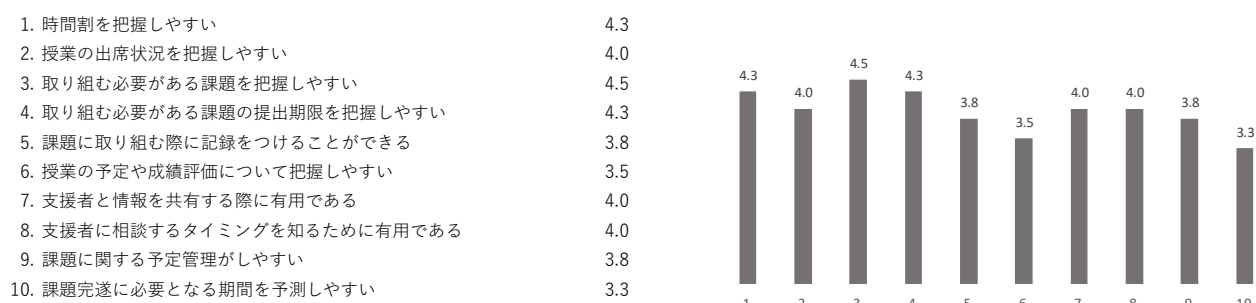
アプリケーションに求める機能として、履修している科目の時間割表示、授業で課された課題の一覧表示、課題の難易度入力、課題に取り組んだ積算日数の表示、受講終了後に課題入力を促すリマインダー、欠席回数や成績評価方法のメモ機能、が抽出された。

2. プロトタイプ版アプリケーションの開発

聞き取り調査で抽出された機能を実装したプロトタイプ版アプリケーションを開発した。1. の聞き取り調査で抽出した機能に加えて、課題提出期限が過ぎても提出されていない課題のリマインダー、期限を 2 週間以上過ぎても提出していない課題が 5 つを超えると、支援や相談を要請するように促すメッセージの表示機能を加えた。

3. プロトタイプ版アプリケーションユーザーテスト[図 1]

アプリケーション試用の 5 段階評価で、3.33-4.5 の評価を得たことから、取り組むべき課題の管理しやすさについて、概ね肯定的な評価が得られた。また、支援者と発達障害学生間のやりとりが効率的になり、発達障害学生の支援介入に有用であったことがうかがわれた。



【図 1】 プロトタイプ版アプリケーションユーザーテスト

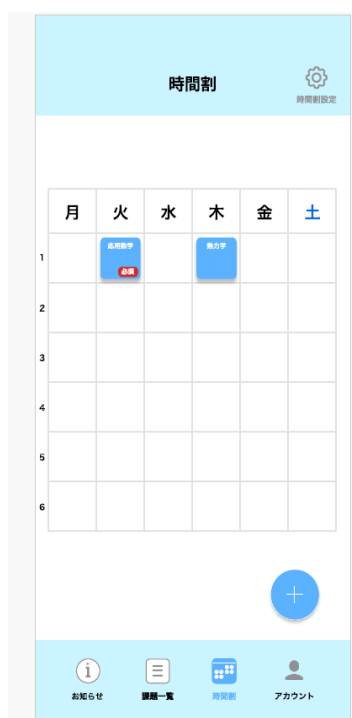
さらに、アプリケーションを用いた支援介入のなかで、注意欠如多動性障害（Attention Deficit Hyperactivity Disorder：以下 ADHD）の学生が自身の ADHD 特性についての自己理解を深め、自身の問題への対処方法を考えやすくなることが示された。

【今後の課題】

アプリケーションが完成される時期が後ろ倒しになったため、時間の見積もりや優先順位付けの支援介入を十分に行うことができなかった。本来の計画では、半期の課題取り組みデータの結果をもとに、次期の課題計画を立てることを想定していたが、本研究では課題計画を立てて実行する期間をとることができなかったためである。また、ADHD の学生が、作業完遂までに数日を要する課題を 1 日や 2 日で終えてしまうことが多かった点についても留意する必要がある。今後、上記 2 点を検証するために、十分な期間を確保し、データ数を増やして、本研究の継続版となる研究を行う予定である。さらに、発達障害学生支援を行う支援者にも、本アプリケーション活用を勧めるべく、有用性の発信を行う。

【参考文献】

- [1] Nugent, K., & Smart, W. (2014). Attention-deficit/hyperactivity disorder in postsecondary students. *Neuropsychiatric disease treatment*, 26, 1781-1791.
- [2] Davidson, D., Diclemente, C., & Hilvert, E. (2021). Experiences and insights of college students with autism spectrum disorder: an exploratory assessment to inform interventions. *Journal of American College Health*, 71, 1-4.
- [3] Tivers, E. (2025). 25 Great Mobile Apps for ADHD Minds. https://www.additudemag.com/mobile-apps-for-adhd-minds/?srsltid=AfmB0oqPvcORvx2B8ofWJXqSCyZvGcG0kEOQqhkBBNBrNv7gM_i3Avr
- [4] 立命館大学 (2019). 発達障害学生の理解と支援のためのガイド 「気付き」から「支援」まで.



1. 時間割

- ・操作：右下のプラスボタンから授業詳細の登録画面へ遷移し、
授業名、講師名、必修の有無、課題入力通知の有無を登録
- ・詳細設定：右上詳細設定ボタンから、詳細設定画面へ遷移し、
表示する曜日（月-土）、表示する時限数（1-6）を選択
- ・表示項目：履修している授業名、必修科目には必須マーク
- ・詳細確認：各授業をタップすると、欠席回数、
授業内容、課題、を登録できる画面へ遷移



2. お知らせ

- ・表示項目：直近の授業、未実施の課題を表示
- ・詳細確認：課題、授業の行をタップすると詳細情報を表示

※ 課題入力通知有に設定すると、授業終了後に課題入力をリマインド

※ 期限を2週間以上過ぎても提出していない課題が5つを超えると、
「期限切れのタスクが多くなってきましたようです。アクセシビリティ
支援室に相談してみませんか」のメッセージ表示



3. 課題登録

- 課題名: 課題のタイトルを入力
- 期限: 課題の提出期限（例：2024/6/30）を設定
- カテゴリ: 課題の種類を選択
- 難易度: 課題の難易度を 5 段階で評価
- 詳細: テキストボックスに課題の詳細情報を入力
- 操作: 「課題を登録する」ボタンで情報を保存



4. 課題一覧

- 表示項目: 期限、課題名、カテゴリ、難易度（星評価）、実施日数、のアイコンを表示
- フィルタリング: 「締切順」「難易度順」で並べ替えが可能
- 詳細確認: 各課題の行をタップすると詳細情報を表示
- 操作: 右下のプラスボタンから新規課題の登録画面へ遷移

以上